



GALLERY HEPTAGON  
HEPTAGON WORKS GALLERY and LIVING

Press Release  
2022.8/30

## 奥島圭二硝子展 - 彼は誰時 (かはたれどき) - 開催のご案内 Keiji OKUSHIMA glass exhibition



### 【展覧会詳細】

会期 | 2022年9月17日(土)-9月25日(日)

時間 | 12:00~18:00

休廊日 | 9月22日(木)

会場 | Gallery Heptagon (ギャラリー・ヘプタゴン)

〒602-8175 京都市上京区下立売智恵光院西入中村町 523

TEL : 080-7583-3388 info@heptagonworks.com www.heptagonworks.com



このたび、ギャラリーヘプタゴンでは、奥島圭二硝子展「かはたれどき彼は誰時」を開催いたします。

奥島圭二は、滋賀・湖北に工房を構え、陶器のような肌感とガラス独特の透明感を併せ持つ独特の表情の作品を作り続けています。

本展では、茶器・酒器・ランプ・オブジェなどの他、新たな試みであるガラスと土を合わせた作品も出品いたします。

また、ギャラリー内に自作の茶室を設え、作品を用いて作家自身が亭主をつとめる茶会も催す予定です。

### ☆お茶会のご案内

奥島のガラス作品を使用したお茶会を開催致します。亭主も作家自身がつとめます。お気軽にご参加ください。

9月18日(日) ①14:00~ ②16:00~

9月24日(土) ③14:00~ ④16:00~

\* 予約優先・各席 30分程度随時・会費 1500円(お菓子付き) \* ご予約はウェブサイトより承ります。



## 奥島圭二硝子展 - 彼は誰時 (かはたれどき) - 開催のご案内 Keiji OKUSHIMA glass exhibition

### 作家ステートメント

「失ってはじめてわかることもあれば、  
幻影を掴むようにわからなくなることもあります。

全ては自身の映し鏡であるという。  
境界は在るように思えて無い… 彼は誰。」

### ●技法や作風などについて

私はガラスという素材を用いてオブジェや茶道具など様々な作品に挑戦し制作しております。  
ガラスという素材の捉えきれない儚く妖艶な美しさに心惹かれ、自身の心象の投影を試みて  
おります。

液体であり個体である。

儚さと強さ。

光の反射と透過そして屈折。

一見相反する性質を同時に合わせ持つこの素材に、奥深さと未知なる風景の可能性を  
感じています。

技法は、kilncast(電気炉铸造)やblow(吹きガラス)をベースに独自の技術や研究を混合して一点一点独特  
な作品を仕上げしております。



**GALLERY HEPTAGON**  
HEPTAGON WORKS GALLERY and LIVING

Press Release  
2022.8/30

## 奥島圭二硝子展 - 彼は誰時 (かはたれどき) - 開催のご案内

Keiji OKUSHIMA glass exhibition



『玻璃髹漆盃箔押』  
(2022)

髹漆とは漆を塗る、もしくは塗ったもの、という意味。

作家独自に研究した方法でガラス、漆、銀箔を焼き付けて一体化させてある。

盃の内側に漆と銀箔が使われている。



## 奥島圭二 プロフィール

### 【略歴】

1977 京都生まれ滋賀育ち  
2000 立命館大学産業社会学部卒業  
2002 富山ガラス造形研究所造形科卒業  
2010  
ガラス工房勤務 着物染色工房勤務を経てガラス作家として独立  
(滋賀県高島市にアトリエを構える)  
以後国内外にて展覧会を中心に活動

### 【コンペ】

2010 Glass Craft Triennale (入選)  
2011 日本クラフト展 (入選)  
2012 テーブルウェア大賞展 (審査員イワタルリ賞)  
2016 伊丹国際クラフト展 (入選)

### 【主な展覧会】

2010 個展「ガラスの灯り展」天(京都清水) / グループ展「灯り展」あかね画廊(銀座,2010~13)  
2011 野外展示 zaroff(初台,2011,2012) / 個展「光やどすガラス」陶庵(金沢)  
2012 個展「水面の記憶」ルンパレンパ(金沢)  
2013 グループ展「Art from the Lakes 滋賀県ミシガン州美術交流展」Lansing Art Gallery(Michigan 米国)  
グループ展「江原道江陵市滋賀県高島市美術交流展」(韓国江陵)  
個展 ギャラリー494(西荻窪,2013~16)  
アートフェア「Art Road77 特別企画 KYOTOKYO2013」(ギャラリー知より参加,韓国ヘイリ芸術村)  
2014 グループ企画「萬福寺手しごと回廊」(宇治,2014~16) / グループ展「六人六色」(韓国江陵)  
2015 春のグループ展 gallery サラ(大津,2015~2017) / 個展「Breathing Light」gallery ナナム(韓国ソウル 仁寺洞)  
2016 個展 gallery AMISU(長浜,2016~2018) / 個展 Gallery 福果(神保町,2016~2018)  
アートフェアART OSAKA (ART ZONE 神楽岡より,2016~2019) / 個展 MaKaRi(米国 NY,2016年より隔年開催予定)  
2017 個展 wad+(心齋橋,2017~2018) / グループ展「日本の名品」展 日本橋三越本館  
妻(奥島香)と二人展 パラミタミュージアム 小ギャラリー / グループ展「台日美術交流会」台北新光三越  
2018 土橋隆弘氏と二人展 高島屋京都店 美術画廊 / 個展 Toyoda酒の器(伏見)  
台日アーティスト組「四猿」による展覧会+落語(法然院講堂 京都) / 個展 陶 翫粹(京都)  
グループ展 韓日作家4人展 Minyesarang(韓国金浦,2018~2020) / 個展 Makari(米国 NY)  
2019 ART NAGOYA 参加(京都 ART ZONE 神楽岡より,2019~2021) / 個展「あわび」Galerie Ashiya Schule(芦屋)  
個展「うつしおみ」gallery サラ(大津) / 台日アーティスト組「四猿」による展覧会+茶会+落語(台北、湖口老街などにて)  
※四猿のメンバー 戴開成(落語家) 方志偉(絵師) 伴哲生(錫作家) 奥島圭二(硝子作家)  
グループ展「李朝に想いよてせ」阪急梅田 美術画廊  
2020 グループ展「守破離」高島屋京都美術画廊 / 個展「再会」Galerie la(銀座)  
2021 三人展「茶の余韻」ぎやらりいホンダ(堺) / 阪本健 伴哲生 奥島圭二 / 個展「碧く澄み渡る」gallery サラ(大津)  
2022 奥島圭二・城崎月甫 二人展 日本橋高島屋 ギャラリー暮しの工芸 / 個展「隨(まにま)に」galleryと一く(姫路)